



令和4年5月16日

各位

会社名 燦キャピタルマネージメント株式会社
 代表者名 代表取締役社長 前田 健司
 (コード番号：東証スタンダード2134)
 問合せ先 管理本部 総務部長 河野 美和子
 (TEL. 03-6452-9626)
 URL <https://sun-capitalmanagement.co.jp>

業績予想と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

令和4年3月期決算（令和3年4月1日～令和4年3月31日）におきまして、令和4年2月14日付「令和4年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表しておりました業績予想と実績値に差異が生じたこと及び特別損失を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和4年3月期 連結業績について

当社グループの令和4年3月期連結業績は、売上高386百万円（前年同期比18%減）、営業損失579百万円（前年同期は343百万円の営業損失）、経常損失620百万円（前年同期は401百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失1,251百万円（前年同期は757百万円の当期純損失）となりました。
 （単位：百万円）

	令和3年3月期 実績	令和4年3月期 実績	前年同期比(%)
売上高	473	386	△18.3%
営業利益	△343	△579	—
経常利益	△401	△620	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△757	△1,251	—
1株当たり当期純利益(円)	△10.77	△12.79	—

2. 前回業績予想と実績値の差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (令和4年2月14日)	381	△350	△371	△911	円 銭 △9.85
今回実績値(B) (令和4年3月期)	386	△579	△620	△1,251	円 銭 △12.79
増減額(B-A)	5	△229	△249	△340	—
増減率(%)	1.3	—	—	—	—



3. 差異の理由

- (1) 営業利益につきましては、不動産事業における仕入原価が予想以上に増加したこと及び当社グループの在庫商品の評価見直しによる評価損失を計上したことで売上原価が増加したことより、売上総利益が減少したことに加え、当社グループにおける人件費、版画絵販売事業に係る業務委託費用、屋台村事業からの撤退による修繕費用、カザフスタン事業における保証金の償却、当社が買収したセブンスター株式会社（以下、「セブンスター社」といいます。）における事業会社の売掛金に対する引当金、租税公課等の販管費が増加したこと等が主な要因で、今回の業績数値が前回業績予想を下回る結果となりました。
- (2) 経常利益につきましては、上記に加え、支払利息の増加及び当社が実施した第三者割当増資に係る株式交付費等が発生したこと等が主な要因で、今回の業績数値が前回業績予想を下回る結果となりました。
- (3) 親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、セブンスター社の取得に係るのれんの評価の見直しによる減損損失として特別損失を計上したこと等が主な要因で、今回の業績数値が前回業績予想を下回る結果となりました。

4. 特別損失の計上について

セブンスター社の取得に係るのれんの評価の見直しによる減損損失 71 百万円を特別損失として計上いたしました。

※なお、セブンスター社の取得に係るのれんの評価につきましては、当初取得時に、企業価値算定に用いた事業計画書に基づいた事業の進捗に遅れが生じていることについて、会計上の評価替えが必要であるとの監査法人の指摘を受けて見直しを行ったものであり、当社といたしましては、現時点において、セブンスター社が行う不動産特定事業法に基づく不動産クラウドファンディング事業の事業性及び将来性についての評価を変更したものではありません。

以上

《令和5年3月期 連結業績予想》

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	439	△230	△282	△311	円 銭 △3.19